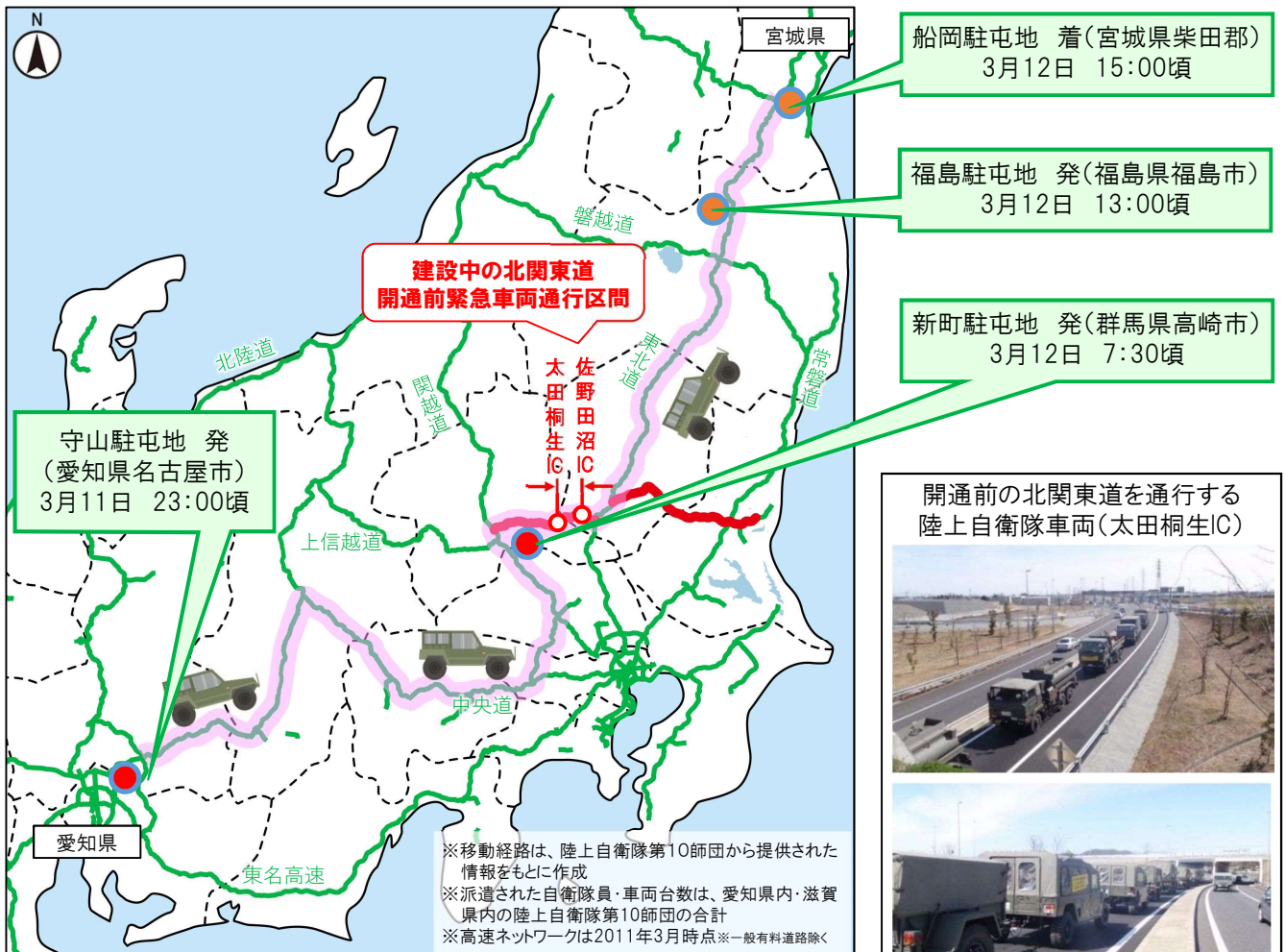


災害時の迅速な救援活動を支援

東日本大震災では、建設中の太田桐生IC～佐野田沼IC間を交通開放し、**緊急車両や復興支援車両が約2,400台利用**
災害地での迅速な救援活動に貢献

東日本大震災時の救援活動に建設中の北関東道を活用



出典:国土数値情報 高速道路時系列データ



【北関東道の建設中区間の緊急車両の通行】

2011年3月12日～19日の間に北関東道を利用した緊急車両台数

約2,400台(太田桐生IC～佐野田沼IC)

[内訳] 自衛隊車両:約1,700台
緊急輸送指定車両:約650台
警察車両など:約50台

※2011年3月19日北関東道は全線開通

震災時、開通前の北関東道を利用し、被災地へ向かいました。新町駐屯地に到着後、北関東道の通行が可能との連絡を受け、ルートを変更し、北関東道を利用しました。当時、東北へ向かう道路は大変混雑しており、北関東道を利用することで渋滞を回避でき、迅速な救援活動を行うことができました。



出典:陸上自衛隊第10師団